

日本家族性腫瘍学会 2018 年度第 1 回理事会 議事録

日時：2018 年 6 月 7 日（木） 16:15~18:15 場所：神戸ファッションマート 9 階 コンベンションルーム 3

出席者： 富田尚裕、菅野康吉、田村和朗、青木大輔、石川秀樹、石田秀行、大住省三、鈴木眞一、武田祐子、

田村智英子、松原長秀、三木義男、村上好恵、数間恵子（監事）

欠席： 執印太郎（監事）、

事務局、編集事務局：飛松、河本

議事：【報告・審議事項】

会議に先立ち第 24 回学術集会 松原会長・田村智英子会長より挨拶があった。

1. 事務局担当飛松より事務局報告があった。

2018 年 5 月 31 日時点での会員数、会費納入状況、新規入会リストについて報告があった。

2. 各種委員会報告・審議

①総務委員会（菅野理事）：特になし

②財務委員会（青木理事）：特になし

③将来検討委員会：石川理事より遺伝性腫瘍の着床前診断に関する検討の提案について、資料提示および説明があった。今後の見解などについて質問があったが、現時点では出す必要なしということで、部会設置を承認し、新体制となる次回理事会でメンバーの提案ができる形で準備を進めていくこととした。

④会則委員会（鈴木理事）：報告事項はなし。定款等について別途審議。

⑤専門医・FCC 制度委員会：田村和朗理事より専門医制度について、2017 年度の認定報告および 2018 年度の試験準備状況について報告があった。また、FCC 制度についても、2017 年度の認定報告および 2018 年度の申請受付準備状況について報告があった。

その他、全国がんプロ協議会等との連携および遺伝関連学会との連携構築についても報告があった。

・FCC 制度小委員会から活動報告および提案があった。

規則・細則の見直しについて提案があり、承認された。本日をもって施行する。また、FCC 制度・役割を明記した広告により広報活動についても提案があり、ポスターを作成し、広報活動を進めていくこととした。

⑥家族性腫瘍セミナー委員会：田村和朗理事より第 20 回前期・後期報告および第 21 回前期・後期セミナー準備状況について説明があった。

⑦編集委員会：石田理事より 18 巻 1 号の進捗状況および論文投稿状況について報告があった。

18 巻 1 号については、6 月中の発刊を目指したい。その他、ゲノムデータベース委員会とリンクしてバリアントレポートを企画している旨の提案があった。大筋 OK として、詳細を詰めていくこととした。

⑧学術・教育委員会：三木理事より次期委員長として、平沢 晃先生を予定している旨、報告があった。

⑨倫理審査委員会：武田理事より新体制へ向けての申し合わせ案について資料提示・説明があった。外部委員についての謝礼について、メール審議の場合は 1 件 5,000 円、委員会出席は 1 回 20,000 円、交通費は別途支給にて決定した。

⑩ガイドライン委員会：大住理事より、2018 年度版の案について、ホームページ掲載および会員メールマガジンにて会員より意見を募っている旨報告があった。7 月初旬の締め切り後、とりまとめて、次回理事会にて報告する。

⑪利益相反(COI)委員会：大住理事より臨床研究法により学会発表についての COI を含め、申告を過去 3 年とする件について提案があり、審議の結果、3 年とすることとした。

⑫国際委員会：松原理事よりトラベルグラントが下記 2 名に決定し明日の学会で授賞式を行うことが報告された。

国立がん研究センター中央病院 高津美月氏、北野病院 吉本有希子氏

⑬遺伝カウンセリング委員会（田村智英子理事）：特になし

⑭広報委員会：村上理事より次期新体制にて英語版ホームページの作成を進めてもらいたい。との提案があった。

⑮ゲノムデータベース委員会：菅野理事より過去の論文よりバリエーション情報を集計し、MGeNDに登録を行った旨、報告があった。

【審議事項】

1. 2017年特別会計報告・監査報告：青木理事、数間・執印両監事より2017年収支決算について、特別会計を含め資料提示・説明があった。監査報告もあわせて行われ、理事会としてはこれを承認した。
2. 2018年度収支予算案について青木理事より予算案提示・説明があった。前回理事会にて予算どりは完了していたが、決算が終了し、繰越金に正しい金額が入った最終的な予算案となったとのこと。確認し、理事会はこれを承認した。
3. 2020年度第26回学術集會長の選考について理事会推薦を決定した。

4. 2018年3月30日10時～東京八重洲倶楽部にて開票され、決定した理事選挙結果について説明があった。

当選理事は以下の通り

青木 大輔、赤木 究、石川 秀樹、石田 秀行、大住 省三、鈴木 眞一、田村 和朗、田村智英子、
富田 尚裕、三木 義男（50音順）

5. 一般社団法人日本家族性腫瘍学会定款新旧対照表について鈴木理事より説明があり、承認された。
登記簿謄本に関わる変更ではないため、法務局への変更申請は不要。
6. 一般社団法人日本家族性腫瘍学会定款細則案について鈴木理事より資料提示・説明があった。以下を変更してはどうかとの意見があり、理事会としては承認し、司法書士に確認後、変更し、細則確定とすることとした。
その他、委員会等については、都度追加・修正が可能であるため、今後検討していくこととした。
また、学術集會会計の監査の有無については、継続審議とする。

第10条（理事の欠員・補充）

「選挙による理事」に欠員を生じたときは、理事選挙の次点者をもって補充する。

→「選挙による理事」に欠員を生じたときは、理事選挙の次点者をもって補充することができる。

なお、評議員資格について、評議員会は委任状では欠席扱いとなることを確認した。

7. 理事選挙施行細則案について鈴木理事より資料提示・説明があった。第2条の連番に誤植があるため、修正し、修正版にて、承認することとした。

8. 新評議員推薦について

下記4名の新評議員推薦があり、審議の結果、承認された。

大竹 徹先生（福島県立医科大学）、高木 潤子先生（愛知医科大学）、永坂 岳司先生（川崎医科大学）
須藤 剛先生（山形県立中央病院）